

「平成21年度 全国学力調査」の正答率の結果を見ると、狭山市の小学校・中学校では、国語A・Bともに県平均、全国平均とほぼ同じである結果であった。

ここでは、小学校・中学校の国語の調査について、正答率の全国平均との比較から、狭山市の成果と課題になる設問について取り上げ、考察する。

**小学校国語Aの調査から** 全国の正答率より6ポイント以上正答率が上回った設問

**5** : 文章の表現の工夫を説明したものとして適切なものを選択する設問

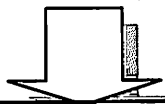
<p>本問題から明らかになった児童の成果と指導の観点</p> <p>◇1〜4の選択肢には、本文に書いてある内容と表現の工夫が書かれている。本文に照らし合わせて選択肢を読み、この二つの内容の整合性をしっかりと読みとれたと言える。</p> <p>◇このような設問では、消去法で解答する指導をしたいものである。右に示すように、「ふさわしくない」部分は線で消し、残った選択肢が「ふさわしい」かどうか確かめることによつて、叙述に即した読みとりができる。</p>	<p>※ 本文は、著作権の関係で掲載できません。 本文は、美奈を主人公にした物語の一部である。三つの段落からできた本文は、全体で約三百二十字から成る文章である。この文章全体から、どのような文章表現の特徴があるかを問う設問である。</p> <p><b>【設問と選択肢】</b></p> <p>5 次は、お菓子を作っている美奈を主人公にして書かれた物語の一部です。文章の表現のくふうについて説明したものとして、もっともふさわしいものをあとの1から4の中から一つ選んで、その番号を書きましよう。</p> <p><b>【表現の工夫】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 美奈と友だちとの関係が分かるように、それぞれの性格や考え方を書いている。</li> <li>2 美奈が体験したことを、ほかの登場人物に対して語りかけるように書いている。</li> <li>3 美奈が取り組んだお菓子づくりのことを、やった順序のとおりには書いている。</li> <li>4 美奈がお菓子をつくるたびに失敗してしまう様子を、たとえを使って書いている。</li> </ol>
---	--

正答率

【全国 58.7% 狭山市 64.8%】

無解答率

【全国 0.7% 狭山市 0.9%】



設問をとおして考えられる、国語科として押さえない基本的事項と家庭でできる学習

<基本的事項>

- 1 たとえの表現＝比喩（ひゆ）表現（①直喩、②隠喩、③擬人法）等、表現技法の学習  
①直喩のキーワード（まるで～のようだ。～みたいだ。）
- 2 文末表現の学習：ほかの登場人物に対して語りかけるような文末表現とは？（～だったね。）
- 3 時系列を示す表現や構成の学習（先週は、そのまえの週は、そのまえは）（現在－過去－現在）

<家庭でできる学習>

教科書や読書の時間に読む物語などに、たとえの表現がでてきたら、作者が何を何にたとえたのか考えよう。さらに、たとえの表現がどんな効果をあげているのか考えてみる。

小学校国語Bの調査から 全国・県平均と同様に、正答率がA・Bをとおしていちばん低かった設問

1-1: 報告文を読み、メモの中に調べた内容の1つめの項目を書き入れる設問

1 (設問文省略)

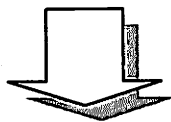
**【報告文の一部】**  
 二 調べた内容と結果(一部省略)  
 ◆平成二十一年の第一小学校六年生の平均タイム  
 一つめとして、ぼくたち六年生の平均タイムを調べた。  
 まず、体育の時間に学年全員の五十メートル走のタイムを計った。走った人数は、男女ともに三十五人ずつだった。  
 次に、平均タイムを先生に出してもらった。平均タイムは、男子は九秒〇、女子は九秒三だった。  
 ◆昭和六十二年の第一小学校六年生の平均タイム  
 二つめとして、昭和六十二年のぼくたちの小学校の六年生の平均タイムを調べた。

**【設問】**  
 一 次は、山中さんが調べる内容を書いたメモの一部です。報告文の「二 調べた内容と結果」を読んで、アの中に入るふさわしい内容を書きましょう。  
**【メモの一部】**

◆平成二十一年の平均タイム  
 ① ア  
 ◇日時 平成二十一年四月十五日 三時間目  
 ◇場所 運動場  
 ◇人数 男子三十五人 女子三十五人  
 ◇準備 記録用紙、ストップウォッチ、コイン  
 ◇平均タイムを先生に出してもらおう  
 ……

◆昭和六十二年の平均タイム  
 ……

正答率【全国11.4% 狭山市11.6%】 無解答率【全国20.8% 狭山市22.7%】



設問をとおして考えられる、国語科として押さえない基本的事項と家庭でできる学習

「書くこと」の学習に関わる設問だが、「読むこと」における理解と密接に関わっている。

<基本的事項>

- 1 いくつかの文と文のつながり方の関係を考えたり、段落どうしの関係を段落構成図として表す学習
- 2 段落や文章の内容、要点などを、図式化でまとめる学習
- 3 いわゆる言葉の数字で並立した内容を表す学習(まず=1、次に=2、そのうえ=3、さらに=4など)
- 4 簡潔で、短小的確な言葉でメモを取る学習

<家庭でできる学習>

教科の調べ学習の宿題などで、□ = 「だから」、△ = 「しかし」、「=」 = 「同じ」など記号を用いて、短い言葉を使って図式化でまとめる。

本設問の解説と、指導の観点

- ◇ 児童の正答率が一割強ということは、九割弱の児童ができなかったことになる。できなかった原因を次のように分析する。
  - 1 設問の意味が分からなかったため
  - 2 「二 調べた内容と結果」のリード文から正解を探してしまっただけのため。
  - 3 一つ目の◆の、「一つめとして、……」の文を正解として選んでしまったため。
- ◇ 「メモの一部」の②が、①の正解が入るアと並立・対等な位置にあることに気づくことができること。
- ◇ さらに、「まず」||①、「次に」||②という、いわゆる言葉の数字が理解でき、②の見出しの文末に合わせ答えること。

8一、二、三：漢字の書き取り・読みと、語句の意味と使い方に関する設問

<p>本設問の解説と指導の観点</p> <p>◇漢字の読みは、九〇%以上の正答率で、日頃、学校や家庭で漢字ドリルや問題集等の繰り返し学習がよく行われている成果である。</p> <p>◇漢字書き取りは、普段文章を書いてその中で漢字を使っていないと、なかなか定着しない。学習指導要領では、一九四五字の常用漢字を読み、一〇〇六字の学年別配当漢字表にある漢字（小学校で履修）に使い慣れるとある。たくさん漢字を熟語や言葉として読んだり書いたりするのは、ドリルや問題集による繰り返し学習が必要であろう。</p>	<p>8</p> <p>次の一から八までの各問いに答えなさい。（※三の一部と、四から八は省略）</p> <p>一 次の1から3までの文中の——線部のカタカナを漢字に直し、楷書でていねいに書きなさい。</p> <p>1 世界イサンを見学する。 2 ジシヤクを使って方位を調べる。</p> <p>3 燃料をオギナウ。</p> <p>二 次の1から3までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで書きなさい。</p> <p>1 空気の抵抗がある。 2 ピアノで伴奏する。 3 真実に迫る。</p> <p>三 次のアからオまでの文で、最も適切な言葉を（ ）の1から4までの中から一つ選びなさい。</p> <p>ア 急いでいるときは、靴をはくのも（1おこがましい 2いちじるしい 3もどかしい 4はなはだしい）</p> <p>ウ お客様、どうぞこの洋服を（1めしあがって 2おめしになって 3うかがって 4うけたまわって）</p> <p>エ 調査結果について、報道（1機関 2帰還 3器官 4期間）に対して説明する。（※問題イ、オについては掲載省略）</p>
---	--

8一、二、三の総合

正答率【全国 78.1% 狭山市 76.5%】 無解答率【全国 4.3% 狭山市 5.3%】

設問をとおして考えられる、国語科として押さえない基本的事項と家庭でできる学習

<基本的事項>

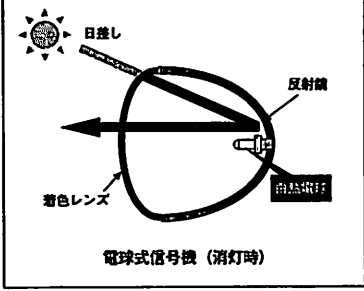
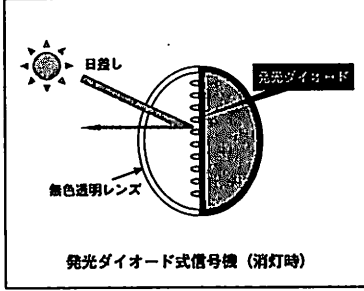
- 漢字の書き順、画数、部首、成り立ち、音読み・訓読み、同音・同訓の使い分け、似た漢字どうしの使い分け等の継続的な学習
- 漢字を、熟語や言葉として練習し、言葉の意味と共に習得する学習。なお、言葉を学習する際には、同音・同訓語、多義語、同義語・対義語（反対語や対になる語）、慣用句、ことわざ、四字熟語などに広げて学習できるとよい。
- 語彙を増やす学習：国語辞典や漢和辞典を利用して、言葉の数を増やす学習である。その際、言葉の性質に着目して、例えば、同じ品詞の言葉、同じ意味に属する言葉、同じ意味を表す言葉、和語・漢語・外来語など、系統性を持った学習が効果的である。

<家庭でできる学習>

読書をするとき、たまには辞書を傍らに置いてみてはどうでしょう。漢字や言葉の内容を扱った問題集などもたくさん市販されています。

中学校国語Bの調査から 全国・県平均と同様に、無解答率がA・Bをとおしていちばん高かった設問  
 2三：補助資料の図が、文章のどの部分を補足しているかについて、文章中から適語を抜き出す設問

図【B】

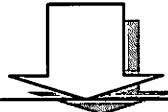
【設問】二 堀川さんは、「発光ダイオード」について調べていることにしました。次の文章【A】は、堀川さんが読んだ本の一部です(1から6は、段落の番号を表します)。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【文章【A】の5段落】(1から4段落と6段落は省略)

5 最後に発光ダイオードには、カラー発光する(特定の色の光を出す)という特徴がある。朝や夕方などに太陽の光が当たって、信号機が三色とも光って見えるという経験をしたことはないだろうか。これを疑似点灯現象(点灯していないのに点灯しているように見える現象)といい、これまでの電球式信号機に多く見られる現象であった。白熱電球は白色光のため、赤や黄色などの色のついたレンズをかぶせている。さらに反射鏡を利用することで、白熱電球の光を一方向に集め、信号機として使用している。この信号機に太陽の光が当たり反射すると、疑似点灯現象が起こる。一方、発光ダイオードは、カラー発光するので、色のついたレンズを使う必要はない。だから、点灯していない色までもついているように見えることは避けられる。このことにより、発光ダイオード式信号機は、交通安全に役立つという効果が期待されている。

【設問】三 堀川さんは、文章【A】で説明されている内容でよく分からないことがあります。さらに調べていく中で、次の図【B】を見付け、理解することができました。文章【A】で堀川さんが分からなかったことは何ですか。「く」を防げるとはどういうことか。」に続くように、文章【A】の中から抜き出さなさい。

正答率【全国64.0% 狭山市61.3%】 無解答率【全国17.8% 狭山市20.3%】



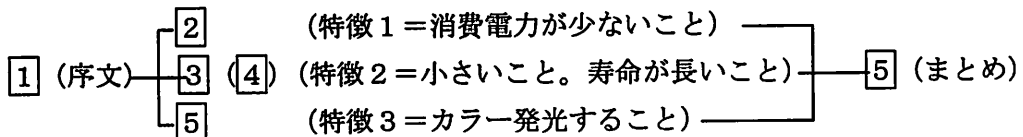
本問題から明らかになった生徒の課題と指導の観点

- ◇【B】の補助資料の図が、文章【A】の5段落の補足をしていることをいくつかの特徴あるキーワードから読みとり、さらに、発光ダイオードを利用することで防ぼうとしている現象を端的に表した短い言葉を抜き出せばよい。
- ◇文章【A】を一読して、話題が発光ダイオードの特徴であり、その特徴は具体的に3つ述べられ、尾括型の説明文であることが理解されるように、普段から説明的文章を読ませたい。

設問をとおして考えられる、国語科として押さえない基本的事項

<基本的事項>

◇文章全体のトピックセンテンス(話題文)から、文章構成を読みとる学習：文章【A】全体の話題文は、1段落の最後の文である。それによって、次のような段落のつながりと全体の構成が読みとれる。



(特徴1 = 消費電力が少ないこと)

(4) (特徴2 = 小さいこと。寿命が長いこと)

(特徴3 = カラー発光すること)